

出張報告

報告日 令和6年 8月30日

会派名	柏盛クラブ
報告者氏名	重野正毅
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	時代の変化に対応した教育を考える～尼崎市の事例から～
日時	令和6年8月15日（木） ～
場所 （会場）	映像視聴で研修
調査項目等	<ul style="list-style-type: none">・求められる変化の時代への対応・学力保障・学校現場をどう支えるか、不登校への対応
概要	<ul style="list-style-type: none">○求められる変化の時代への対応<ul style="list-style-type: none">・教育を取り巻く社会情勢の変化・学習指導要領で育むとされている資質と能力○学力保障<ul style="list-style-type: none">・平均点が上がればよいのか。・個人内評価を大切に、前回より伸びているその子の経年変化を見る。・非認知能力が大切。・教育でも EBPM で語ることが必要。・朝ご飯を食べる子どもの学力は高い、は因果関係ではなく相関関係。○学校現場をどう支えるか<ul style="list-style-type: none">・不登校の子どもたちを画一的にとらえるのではなく、子どもの状態にはグラデーションがあるもの、日々の状況によって状態も変化していくものとして認識する。・子どもは簡単に SOS を出してくれない。・公設民営フリースクールの設置。・認定フリースクールガイドラインを策定。・フリースクール等利用支援補助金。・指定管理を中心とするユースワークの推進。 ユースワークとは、若者の個人的、社会的成長と若者の社会的包摂を目指した不公式な教育活動。

所 感 等	<p>【重野正毅】</p> <p>講師は前尼崎市長の■■■■さん。ご自身がその前の市長から受け継いでさらに発展させてきた教育関係の話であった。公教育（特に義務教育）は卒業後の土台作りが大切とし、数値のみ、平均点のみで学力の定着を図ったり、向上プロジェクトを進めるのではなく、一人の子どもを一人の市民として育むために、個人内評価を取り入れ、非認知能力重視の指導を心がけていくという強い意志を感じた。柏崎市では今年度までの学力向上プロジェクトを展開しているが、トップの考え方が学校現場にどのような影響を及ぼすのかやや心配しているところである。</p> <p>講演の中で、保険と教育は紙文化の双璧で電子化が遅れているとのことだった。しかしこの保険と教育の分野の中にこそ子どもの情報が数多く含まれているということで、この分野をどうデジタル化していくかがこれからの課題になるのだと思う。</p> <p>いずれにしても教育は10人いれば10通りのアプローチがあり、その結果が現れるのは10年近くかかるものである。プロジェクトの結果をすぐに求めるのではなく、もっとゆとりを持ち、現場の環境整備に力を入れるような行政であると現場の教員もゆとりをもって子どもに対応できるのではないかと感じた。</p>
-------	--

会 派 名	柏盛クラブ
-------	-------

報告者氏名	重野正毅
種 別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用 務	児童虐待の根本解決に向けて地方自治体ができること ～教育×福祉の視点で考える～
日 時	令和6年8月15日（木） ～
場 所 （会場）	映像視聴で研修
調査項目等	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止法の改正 ・虐待する親の傾向 ・子どもの権利
概 要	<p>○約7割が子育てに不安や悩みを感じている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「愛」って何。価値観を押し付けないことで、大人は、あなたのためとして愛という名の支配をしてしまう。 ・虐待という言葉ではなく、マルトリートメント（不適切な養育）と変えていくべき。 <p>○健やか親子21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産前と産後は医療。子育ては福祉。医療は命にかかわることだからできないことを指導する。福祉はできないことを指導したら人は傷つくので寄り添うもの。 ・人は見て学ぶものだから言葉だけでは正確に伝えられない。 ・児童虐待というけれど、虐待に追い込んでいるのが社会。 <p>○児童虐待増加の理由は心理的虐待</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最多は面前DV。DVってこういうことだよ、という知識を知っておくことを教育現場で伝えていかないといけない。 <p>○児童虐待防止法改正にポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親や保護者に対してサポートが必要とする文言が多く入っている。親が困っているから子どもも困っている。子どもの貧困は親が貧困だから。児童虐待も親が困っていなかったら虐待は起こらない。親の困り感を解消しない限り、子どもに関する課題はなくなるから、親子を分けて考えるのではなく、親子を一緒に考える政策を。 <p>○親を頼れない背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育虐待も課題。教育熱心とは違う。親が満足するために子どもを利用するような場面がある。 ・予期しない妊娠が児童虐待死の一番。亡くなる子どもの最多は0歳0か月の子。 <p>○虐待する親の傾向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体罰を肯定していたり、自分の欲求を子どもより優先する傾向があったり、

	<p>子育てに対する自信を無くしたり、この子がいるから自分がしんどいと思っ ていたり、子育てに疲れ切っていたり、子育てが完璧でないとだめだと思っ ていたりする。加えて、予期しない妊娠があるとそもそも子どもの存在が受 け入れられなくなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待された子どもは必ず親を救ってほしいという。親のことを見て見ぬふり をして児童虐待を語るのは寝言である。 <p>○日本の福祉は申請主義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談するってどういうことか、どうやって相談したらいいのかということも 同時に伝えていかないといけない。 <p>○子どもの権利</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利を正しく教えていないから権利の主張だけする。権利を正しく知識とし て学んだ子は、自分の権利が守られたかったら相手の権利も守らなければな らないという方向に思考は向く。これを教育現場で教えていく。
所 感 等	<p>【重野正毅】</p> <p>講師の■■■■さんの行動力溢れる日々圧倒された。ご自身の高校卒業直後に出 産をするなどの体験から、虐待する親の気持ちや子育てに対する課題を自分事として とらえ、その原理や解決方法について積み重ねてきたことを仲間とともに国へも働き かけていることに人としての素晴らしさを感じた。</p> <p>児童虐待もそれを受けている人が虐待と知ることが第一歩であり、それは知識とし て教育現場で教えていくことが必要だということ、虐待までいかなくてもヤングケア ラーという状況も、それが当たり前のことではない、自分の権利はどういうものなの かなども知識として持っている必要がある。教育の大切さを痛感する講演であった。</p>